**UNIT**

**2014年11月1日より**

# 有機溶剤10物質が特定化学物質に移行されました

## 1.ジクロロメタンをはじめとする有機溶剤10物質を特定化学物質に移行

胆管がん事案の原因物質の1つとして考えられるジクロロメタンを含めた、発がんのおそれがある有機溶剤10物質について、発がん性に着目した規制を行うため、現行の「有機溶剤中毒予防規則の措置対象物質」から、「特定化学物質障害予防規則の措置対象物質」に移行します。これにより、これらの物質を使用して有機溶剤業務を行う場合には、現行の化学物質の発散を抑制するための設備の設置、作業環境測定の実施、特殊健康診断の実施、作業主任者の選任などの有機溶剤中毒予防規則に基づく措置に加え、健康診断や作業環境測定の結果、作業の記録などを30年保存することが義務付けられます。

（平成26年8月公布、同年11月1日施行）

## 特定化学物質障害予防規則 第38条の3（掲示）

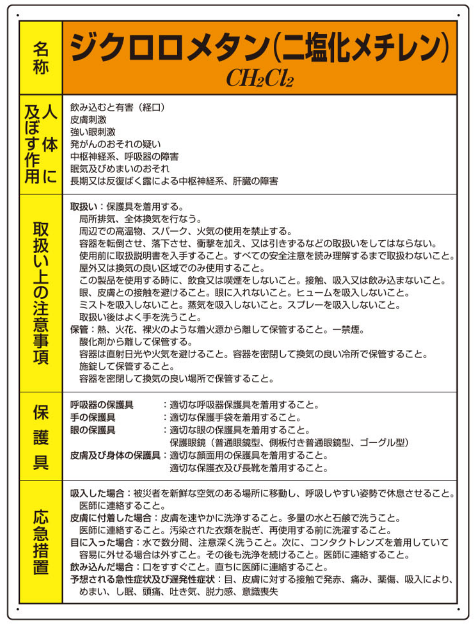
事業者は、第一類物質（塩素化ビフエニル等を除く。）又は令別表第3第2号3の2から6まで、8、11から12まで、13の2から15まで、18の2から19の5まで、21、22の2から22の5まで、23の2、24、26、27の2、29、30、31の2、32若しくは33の2に掲げる物若しくは別表第1第3号の2から第6号まで、第8号、第11号から第12号まで、第13号の2から第15号まで、第18号の2から第19号の5まで、第21号、第22号の2から第22号の5まで、第23号の2、第24号、第26号、第27号の2、第29号、第30号、第31号の2、第32号若しくは第33号の2に掲げる物(以下「特別管理物質」と総称する。)を製造し、又は取り扱う作業場(クロム酸等を取り扱う作業場にあっては、クロム酸等を鉱石から製造する事業場においてクロム酸等を取り扱う作業場に限る。次条において同じ。)には、次の事項を、作業に従事する労働者が見やすい箇所に掲示しなければならない。

1.特別管理物質の名称
2.特別管理物質の人体に及ぼす作用
3.特別管理物質の取扱い上の注意事項
4.使用すべき保護具

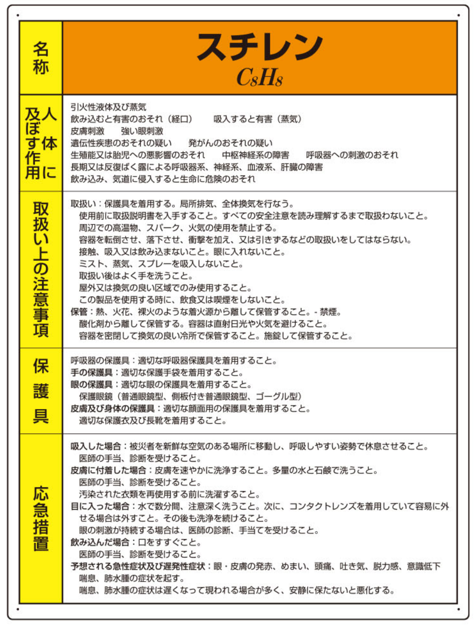
※掲示寸法は、規則では定められておりません。

## 特定化学物質等標識

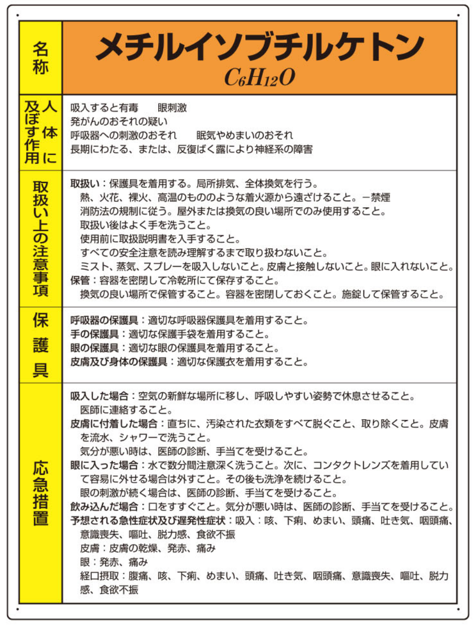
サイズ：600×450×1.2mm厚　材質：エコユニボード(2.5mmφ穴4スミ)


名称
ジクロロメタン(二塩化メチレン)
CH₂Cl₂
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

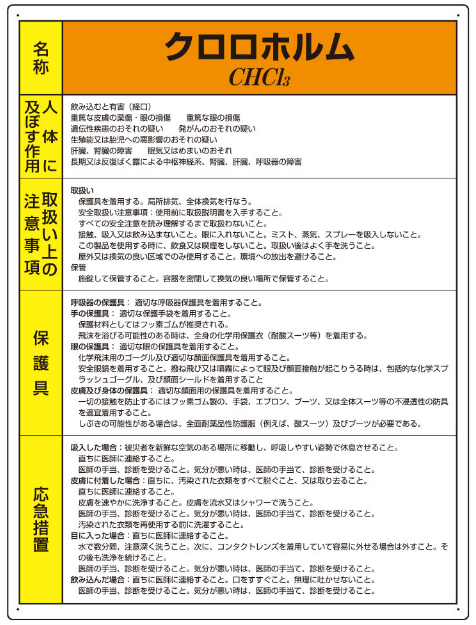
**815-32** (ジクロロメタン)


名称
スチレン
C₈H₈
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

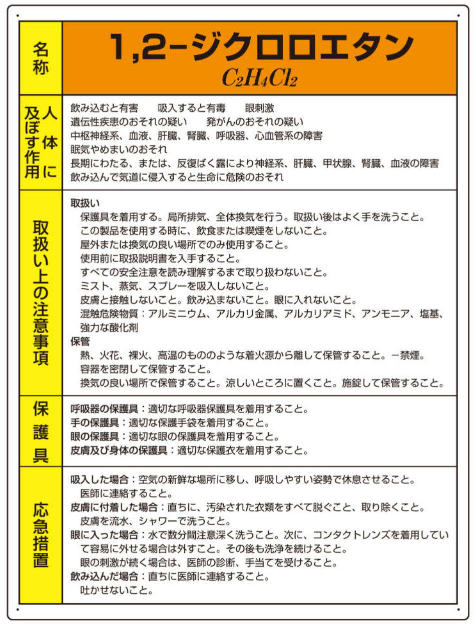
**815-33** (スチレン)


名称
メチルイソブチルケトン
C₆H₁₂O
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

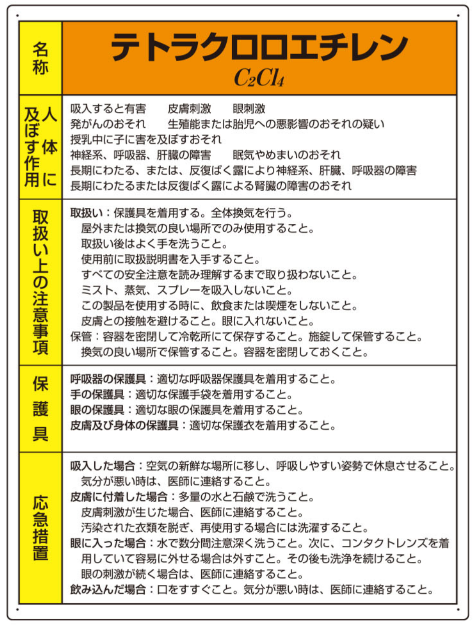
**815-34** (メチルイソブチルケトン)


名称
クロロホルム
CHCl₃
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

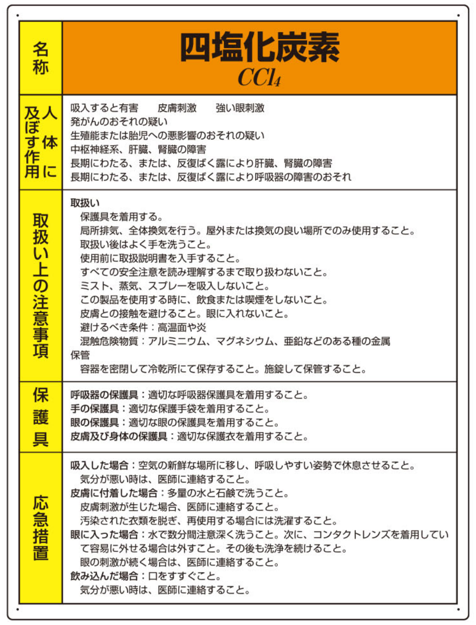
**815-37A** (クロロホルム)


名称
1,2-ジクロロエタン
C₂H₄Cl₂
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

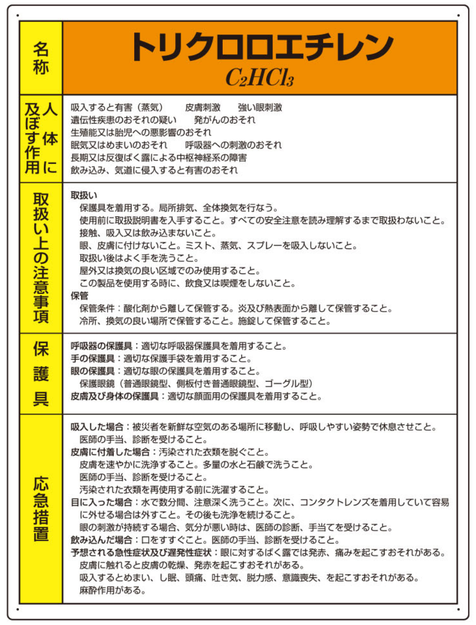
**815-38** (1,2-ジクロロエタン)


名称
テトラクロロエチレン
C₂Cl₄
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

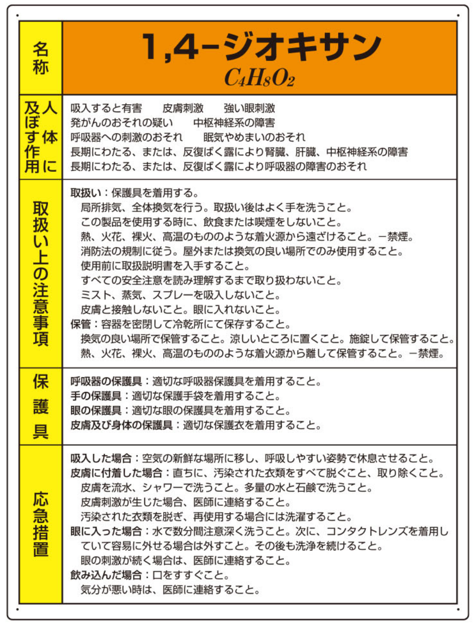
**815-39** (テトラクロロエチレン)


名称
四塩化炭素
CCl₄
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

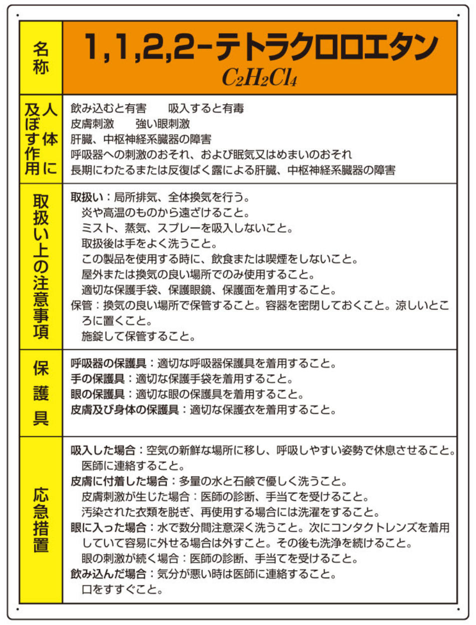
**815-42** (四塩化炭素)


名称
トリクロロエチレン
C₂HCl₃
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

**815-43** (トリクロロエチレン)


名称
1,4-ジオキサン
C₄H₈O₂
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

**815-44** (1,4-ジオキサン)


名称
1,1,2,2-テトラクロロエタン
C₂H₂Cl₄
人体に及ぼす作用
取扱い上の注意事項
保護具
応急措置

**815-45** (1,1,2,2-テトラクロロエタン)

使用例
ジクロロメタン(二塩化メチレン)

ユニットの安全標識・安全用品カタログ SH-14
工場・各種施設用
UNIT
ユニットの
SH-14カタログでは
他にも24種類の
特定化学物質等標識を
ご用意しています。
U
UNIT

<企画・製造> UNIT ユニット株式会社 URL http://www.unit-signs.co.jp